

ニュースレターQ

天保8年(1837年)創業 / 第214号(2025年5月1日発行)

スギウラ株式会社

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 2-2-8

【HP】 <http://www.kamisugiura.co.jp/>

【TEL】 027-361-5808 (代) 【FAX】 027-361-1272 【MAIL】 water@kamisugiura.co.jp

【X (旧 Twitter)】 @sugiura_maruq

【WebShop】 <https://pssugiura.base.shop/>

今月の用紙：タント N-63 70K

暖かくなって、過ごしやすくなってきたかと思えば、寒くなったり、急に暑くなったりと、体調を崩しがちな気候ですね。“過ごしやすい”と書きましたが、花粉症の私にとっては、厳しい時期です。早く花粉の時期が過ぎてほしいと願う毎日です。

さて、本紙6頁でも少し触れていますが、弊社主催の「ペーパーショウ in 群馬」を2年ぶりに開催いたします。5回目の開催となる今回も、ご来場くださった方に楽しんでいただけるよう、社員一丸となって準備を進めております。皆様のご来場をお待ちしております。



第5回ペーパーショウ in 群馬 ～みて さわって たのしい紙の世界～

開催日時：7月25日(金) 10:00～17:00

26日(土) 9:00～16:00

会場：ピエント高崎 エクセルホール

入場無料

大王の色上質一部廃色のご案内

大王製紙より「大王の色上質」の一部廃色の案内がありました。現在 23 色展開していますが、在庫限りで「もえぎ」が廃色となります。「もえぎ」は北越コーポレーションの「紀州の色上質」では販売継続色になっておりますので、今後ご使用予定がございましたら、紀州の色上質でご案内させていただきます。お問い合わせお待ちしております。よろしくお願いいたします。(S)

封筒のご相談はスギウラまで

封筒の拡販に力を入れて 15 年以上が経ちました。お陰様で毎月たくさんのお客様からご注文をいただいております。しかし弊社のPR不足で、いまだにお客様から「スギウラさん封筒やっていたの?」と言われてしまうこともございます。今年はさらに封筒の拡販をしようと考えております。

弊社の強みは封筒メーカーの「山櫻」、「キングコーポレーション」、「寿堂紙製品工業」主力 3 社の封筒を取り扱っていることです。また、「山櫻」では「長 3」、「角 2」の売れ筋商品も在庫しておりますので、数量によっては当日納品も可能です。お取り寄せ商品もお客様の場所によっては午前中発注で翌日納品の対応もできます。そして淡い色で人気のハーフトーンカラー(山櫻の呼び名ECカラー)は価格帯も安いので弊社1番の売れ筋商品になっております。また、封入物が透けない印刷加工が封筒の内側にされている「ミエナイカラー」の需要も現在高まってきております。どのような仕様になっているかご興味のあるお客様はサンプルをご用意いたします。最後に印刷付きの封筒や完全別注オリジナル封筒の対応もできます。まだお問合せくださったことがないお客様がいらっしゃいましたら是非弊社営業までお問合せください。よろしくお願いいたします。(S)

「なにを食べるか?」「なにを食べないか?」

私は、食べ物については基本的に昔から日本人が食べていたものを、食べるようにしています。日本人が何千年も何百年も食べていたものが、日本人の体に合っていると考えているからです。昔から食べていたもの、お米、味噌汁、煮物、魚介類や海藻、漬物（家では、塩は海水を使用し天日と平釜の伝統製法のもの、醤油は国産有機JASの生醤油、みりんはもち米・米麴・本格焼酎のみ使用のものなどを使っています）。しかしながら現代社会では、それを徹底するのはとても難しいことではあります。大勢で食事をする際など自分で選択できないとき、誘惑に出会ったときなど・・・。

また、近年日本人が食べるようになったに物は、なるべく避けるようにしています。外国人の中には、海苔やワカメ、ゴボウなどを食べると消化できず、おなかを壊す方も多いようです。逆にイヌイットは、アザラシの生肉を食べていました。日本人が食べたなら病気になってしまいます。それらは長い歴史の中で、その土地で取れたものしか食べられなかった時代が長く続き、その環境に人間が適応した結果だと言われています。

いろいろな食べ物が溢れている時代で、「なにを食べるか?」「なにを食べないか?」健康や欲求と相談しながら決めるはとても難しく感じています。私も未来の健康な自分と共に、誘惑と連日戦っているところです。 (た)



頭の体操

ある法則で、5つの三文字言葉を並べました。

初歩的 貴金属 奥飛騨 芳香剤 仁王門

同じ法則でこのグループに入る言葉は、①～③のうちどれでしょう。

①菩提樹 ② 記念樹 ③月桂樹

正しい書籍の保管方法

2010年にiPadなどのタブレット機器が発売されたのを契機として、今では電子書籍は誰でも手軽に利用できる存在になりました。皆さんの中にも電子書籍を購入するようになって以来、紙の書籍の所有数が減ったという方は多いのではないのでしょうか。

私自身も同様に、電子書籍を利用するようになってからは新たに書籍を紙で購入する機会が減ってしまいました。そうは言っても私の場合は気に入ったものは紙の書籍で所有したいという気持ちが強く、常に百冊前後の書籍を家で保管している状態です。私が所有している紙の書籍の中には電子書籍の普及以前に購入したものもあり、何十年と持ち続けていることとなります。そういったお気に入りの書籍をこれから先も長く手元に置いておくため、正しい保管方法を調べてみました。

まず、書籍は原材料のほぼ全てが紙なので紙の弱点となる日光や湿気は避けなければいけません。紙自体の黄ばみやカビの発生につながるからです。更に書籍の背や表紙の印刷の色褪せも起きます。特に黄色系や赤系の印刷は光による色褪せが顕著なので気を付けたいところです。我が家では本棚の見栄えにこだわりのないため、日の当たりそうな棚にはカーテンを取り付けるなどの対策をしています。また、段ボールは湿気を通してしまいますから、長期間に渡る書籍の保管には使用しない方が無難です。

次に、書籍は立てた状態での保管が一番長持ちするそうです。場所が足りずに本棚の隙間に寝かせて入れるのはもってのほかです。逆に棚に隙間ができて斜めになってしまうのも書籍のページの端や背の部分への負担につながってしまうのでブックエンドを使用しましょう。

最後に虫対策です。書籍に湧く虫は様々いるようですが、湿気や埃を溜めないことが共通の対策方法です。ページを一度めくってから、風通しの良い日陰に立てた状態で放置することで書籍に風を通すことができます。窓の近くなどで複数回ページをめくり書籍全体を空気に触れさせるとより効果があります。

こうして改めて正しい保管方法を考えると紙の書籍は場所も手間もかかることに気付かされますが、これからも何十年と持ち続けられるように大切にしていきたいものです。 (ま)

プルースト効果

何かの香りを嗅いで、昔の思い出や忘れていた記憶を思い出したことはありますか？ ある洗剤の香りを嗅ぐと実家を思い出す、ある香水の香りを嗅ぐとそれを付けていた人との記憶が浮かぶ…など、香りから過去の記憶がよみがえる現象には「プルースト効果」という名前が付いています。

「プルースト効果」という名前は、20世紀初めのフランスの小説家であるマルセル・プルーストの小説に由来します。小説の冒頭で主人公が紅茶に浸したマドレーヌを口にしたら、その香りから不意に幼少期を思い出すという描写を元に名づけられました。ちなみにその小説「失われた時を求めて」は、世界最長の小説としてギネス記録に認定されています。

なぜ匂いが記憶に残りやすいかというと、嗅覚が人間の記憶をつかさどる「海馬」に直接的に働きかけるからです。海馬とは人間の感情や本能を操る大脳辺縁系の中にあり、五感の中で嗅覚だけが直接海馬に刺激を与えることができます。そのため嗅覚からの刺激は脳で処理されるのが早く、香りを嗅いだ瞬間に記憶や感情を思い出すことができるのです。

このプルースト効果は人と接する場面やビジネスでよく用いられます。ある特定の人と会う時の香水や店頭で置くフレグランスを毎回同じものにしておくと、全く別の場面で同じ香りを嗅いだ時に思い出してもらえる可能性があるからです。皆さんも好きな香りを纏うのはもちろん、たまには戦略的に香りを選んでみるのも良いかもしれませんね。

(二)

頭の体操 解答

正解は・・・③月桂樹

三文字熟語の真ん中に、「将棋の駒」の漢字が含まれています。

初「歩」的　貴「金」属　奥「飛」驒　芳「香」劑　仁「王」門

よって正解は、③の月「桂」樹となります。

春の上州どっと楽市

4月19日、20日に「第36回上州どっと楽市」が開催されました。会場内の物品販売以外にも、隣接する問屋町公園での各種イベントやキッチンカー、ガラポン大抽選会など見どころが盛りだくさんで、小さなお子様からお年を召した方々まで幅広く楽しんでいただけたように感じます。ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。

今回は、去年開催の秋の上州どっと楽市でご好評いただきました和紙を中心としたラインナップにしてみましたがいかがでしたでしょうか？ 普段なかなか和紙に関わる機会がない方でも、実際に現物を見て、触って、良さを感じていただいたり、「あんなことに使えるかも？」と想像していただく機会になれば嬉しいです。



「見て、触って」といえば、第 211 号でもご案内いたしました、今年の 7月25日(金)、26日(土)に弊社主催のイベント「ペーパーショウ in 群馬」を開催いたします。「みて さわって たのしい紙の世界」をテーマとし、紙製品の展示や紙を使用した体験コーナーをたくさんご用意しております。また、アンケートにご協力いただくと参加できる抽選会も企画中です。こちらのイベントも幅広い世代の方にお楽しみいただけるように準備しておりますので、ぜひお越しいただければと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(二)